

クリーンエネルギー天然ガス利用を推進する 北海道ガスの事業活動

地球環境と調和した資源・エネルギー利用を推進

北ガスでは石油系ガスから天然ガスへと、都市ガス原料の転換を推進しています。勇払地区で産出された天然ガスを石油資源開発（株）のパイプラインで北広島供給所まで輸送し、北ガスの幹線を使用して札幌圏や恵庭・千歳地区に供給しています。

パイプラインでの輸送は交通事情の影響を受けないため、都市ガス（天然ガス）需要の変動に即座に対応できます。また、ローリー輸送のように交通渋滞や排ガスなどを発生させないため環境保全にも大きく貢献しており、一般家庭から街の隅々まできれいな未来を創り出すクリーンエネルギー天然ガスの可能性は、ますます期待されています。

送ガスパイプライン 起点



勇払油ガス田

（苫小牧市 / 天然ガスの採掘）

あけぼの・沼ノ端・南勇払という3Dの構造からなる日本最大級の油ガス田です。ここで産出される天然ガスは良質で、メタンの純度が高く、二酸化炭素（CO₂）や硫化水素を含んでいません。現在約200億m³以上の埋蔵量が確認されており、十分な安定供給量が確保されています。



勇払油ガス田での産出テスト



勇払油ガス田



天然ガス精製施設

石油資源開発株式会社勇払鉱場は、地下から産出する天然ガスに含まれる水分や油分を分離し、熱量を調整した天然ガスを都市ガス用としてパイプラインを介して北ガスに供給します。

また、ここでは天然ガスの精製設備とガス送出状況の監視制御を24時間体制で行っています。



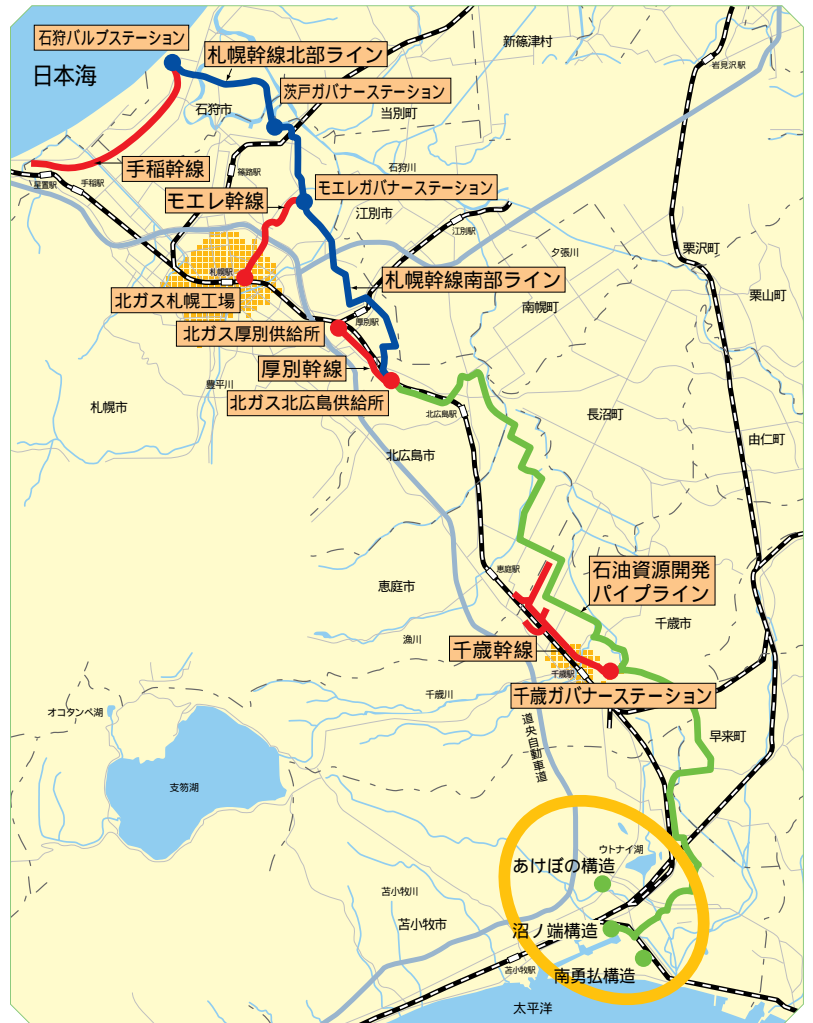
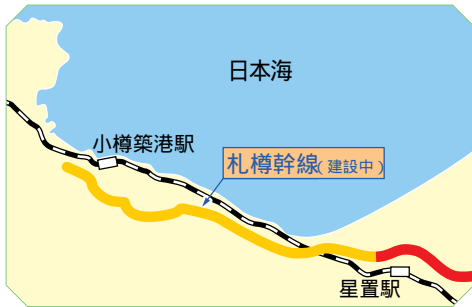
精製施設

送ガス監視制御室

パイプラインによって送られる天然ガスの、流量や圧力等に異常があった場合には電話回線・衛星回線を通じて即座に送ガス監視制御室へ情報が送られ、速やかに適切な対応が行われます。



エネルギーの効率的利用と天然ガスの導入により、地球温暖化防止に寄与します。



供給管理センター

供給管理センターでは、網のように張りめぐらされたガス導管を「供給管理システム」によって一括管理しています。遠隔監視装置や制御装置などでガスの流れを適切にコントロールし、安定供給を確保しています。



北ガス北広島供給所

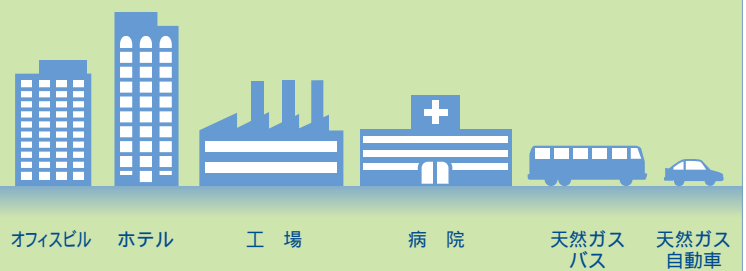
天然ガス受入れ基地

天然ガスの受入れ基地となる北広島供給所には、容量 64,000m³の球形ガスホルダー 2基と、ガスの減圧設備などが設置されています。供給するガスの品質を一定に保つほか、札幌市内へ供給するためのガス圧力の調整を行います。また、緊急時にはパイプライン内のガスを安全かつ速やかに遮断するといった機能もあります。



天然ガスの受入れ基地・中継地点 北広島供給所

業務・産業・医療用



家庭用

